

ふるさとの森を取り戻せ！「松毛川千年の森」再生プロジェクト

活動地域 静岡県

ひろげる助成

3年目

実践

活動の延べ参加者数 **222人**

河畔林の再生面積 **1,550㎡**

今年度計画の達成度 **90%**

目標達成度 **100%**



放置竹林を光が差し込む、ふるさとの森へ

苦労した点と工夫した点

■苦労した点

新型コロナウイルス禍で、自然観察会等の屋外イベントが難航し、回数・規模ともに限定的な開催となった。オンライン発信を具体化させ、河畔林の動植物や自然の魅力を発信していきたい。

■工夫した点

大学の環境実習や企業のCSRと連携し、河畔林整備を進めるとともに環境保全に携わる人材を育成した。また、県の大規模河川整備事業を誘致し、自然再生の基盤を構築した。

課題

三島市と沼津市を横断する「松毛川」は、ゴミの放置や放置竹林の拡大、河川内のヘドロの堆積等による環境悪化が進行し、「ふるさとの川と森」が失われようとしている。

目標

松毛川の河畔に「ふるさとの森」を取り戻す市民主導の再生・整備活動や環境教育・交流活動を推進するとともに、三島市・沼津市両市民による保全・管理体制を構築する。

活動内容と成果

- 大学・企業・地元住民延べ118人と協働し、これまで整備した河畔林の枝払い・下草刈り等の保育作業を実施した
- 河畔林に生息する野鳥、植物を専門家が解説する自然観察会を3回行い、児童を含めた47人の市民が参加した
- 新型コロナウイルス禍に対応した松毛川オンライン環境講座を首都圏の大学生21人へ実施した
- 松毛川環境調査（植物・野鳥・水生生物・魚類）を行い、3年間の森づくり活動の成果を可視化した
- 「千年の森づくりシンポジウム」を開催し、専門家による学術的な自然評価を加え、当地の魅力を発信した



森を飛び回る野鳥たちを観察



松毛川の魅力を発信するシンポジウムを開催

全助成期間の活動を振り返って

放置竹林化した森に原自然を取り戻す活動の趣旨に沿って、着実な再生活動を進め、年々動植物の多様性を向上させることができた。加えて、森の変化に比例して周辺住民の評価・参加度も向上し、地元愛護団体との連携強化による持続的な管理体制を強化できた。また、助成期間中に県営事業による河川整備の誘致やこれまでの活動が中部地域の未来づくりのモデルとして受賞したことで、松毛川の希少性・保全の重要性が広く認められた。

〒411-0857
静岡県三島市芝本町6-2
電話：055-983-0136
E-mail：info@gwmishima.jp
HP：http://www.gwmishima.jp/



今後の展望

地元愛護団体とともに整備作業・普及活動をより推進するとともに、近隣の学校・企業・団体とのパートナーシップを強め、松毛川が広く地域に活用される協働の森づくりに取り組んでいく。また、助成期間で蓄積した専門的な環境データを元にオンラインを活用しながら、ふるさとの森としての魅力や価値を広く発信し、環境保全の支援の輪を広げる活動を展開していく方針である。